

# 曳馬の小径

今週から教育実習が始まりました。曳馬中の卒業生です。

今週から2名の大学生が、本校で教育実習を3週間行います。将来、教師をめざし、7月には必ず教員採用試験を受検することを条件に、実習を受け入れています。

この教員の免許を取得するためには、だれもがこの教育実習を行わなければなりません。そして、この実習を通して、その学生が教員としての資質や能力があるかどうかを試されます。それが認められると、教職課程の中の1つの単位として認められ、教員採用試験を受けられるようになります。生徒のみなさんの中で、将来学校の先生になりたいという希望をもっている人は、知っておくとよいと思います。教育学部に限らず、各大学で教職課程の一定の単位をとり、大学4年生のときに教育実習を行い、単位がとれば、採用試験を受検する機会が与えられます。

また、将来、先生になりたいと考えている人は、「子どもが大好き」「人に教えることが大好き」といった情熱をもっている人ばかりです。だから、実習を行う学生はみな真剣であり、やる気満々です。みなさんも実習生といろいろな話をしてみてください。

## <教育実習生紹介>

	氏名	教科	指導 教官	学 級
1	材々 リノ 大石 理乃	英語	松井 麻貴	1-4
2	かづみ けんすけ 梶村 健祐	国語	廣野 幸恵	3-6

## 学校教育活動アンケートについて

1学期末、2学期末に保護者の皆様にも、生徒と同様にアンケートにご協力いただきます。質問項目を掲載しますので、無回答にならないよう、お子様とのコミュニケーションや授業参観等をとおして情報収集をお願いいたします。

### 1 「分かる楽しい授業」

- ①学校では、基礎的な学力が身につくようなわかりやすい授業をしている。
- ②教職員は、子どもの興味や意欲を高める授業を工夫している。
- ③学校は、子どもに応じた学習の手助けを行っている。
- ④各教科がどのような内容を評価されているか、だいたいわかっている。
- ⑤曳馬中学校は、授業その他の学習指導が充実している。
- ⑥野外活動、修学旅行など、学校行事に積極的に取り組み、成長している。
- ⑦ドリルタイムは、子どもに定着している。

### 2 「子ども理解」

- ⑧学校は、生徒一人一人を理解し、大切にしている。
- ⑨学校は、いじめのない学校、学級、集団づくりに取り組んでいる。
- ⑩学校は、子どもに生命を大切にする心や、社会のルールを守る態度を教えている。
- ⑪曳馬中学校に通わせていることに誇りをもっている。
- ⑫学校の生徒指導の方針を理解している。
- ⑬教師は、子どもの間違っただ行動に対して適切に指導している。
- ⑭教師は、子どものことについての相談に適切に応じている。
- ⑮学校は、将来の進路や職業などについて適切に指導している。
- ⑯朝食は毎日食べさせるなど、なるべく食事は親子でいっしょにとるようにしている。

### 3 「開かれた学校」

- ⑰学校は、三者面談や教育相談等が充実し、相談がしやすい。
- ⑱学校は、家庭・地域と積極的に連携・協力している。
- ⑲学校は、便りやホームページ、その他の方法で情報をよく発信している。
- ⑳学校は、子どもの安全確保や健康管理のための取り組みを十分行っている。